

札幌市の交通に関する取組の紹介（平成27年度） ～「暮らし」・「活力」・「環境」に寄与する交通を目指して～

●札幌市の将来交通に対する基本的な考え方（平成24年1月）

札幌市では、少子高齢化の急速な進展などの社会情勢の変化や低炭素社会の実現といった課題などを踏まえ、市民の日常生活や経済活動を交通面から支えるために『「暮らし」「活力」「環境」を重視する公共交通を軸とした交通体系の実現』に向けて、交通に関する様々な取組を行っております。詳細は札幌市総合交通計画をご覧ください。

☞ 詳細は「札幌市総合交通計画」のページへ

URL : <http://www.city.sapporo.jp/sogokotsu/shisaku/sogokotsukeikaku/index.html>

●平成27年度に行った主な取組の紹介

◇【自転車】総合的な駐輪対策の推進（既存用地を活用した駐輪環境の整備、民間整備の制度検討など）

【拠点まちづくり支援・都心まちづくり支援パッケージ】

★平成27年度に南2西4五番街駐輪場を整備し、平成28年4月1日に供用開始

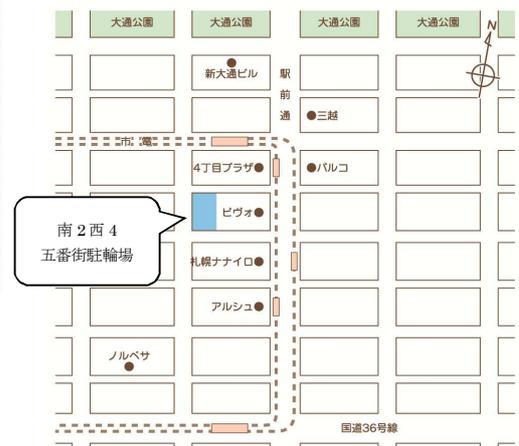
整備概要

- ・平面式の民間駐車場を立体化し、2階部分を駐輪場として活用（官民協働の駐輪場）
- ・駐輪場の整備及び放置禁止区域の指定により、放置自転車が抑制され、周辺道路の歩行空間を確保

面積：898.89㎡

駐輪許容台数：467台

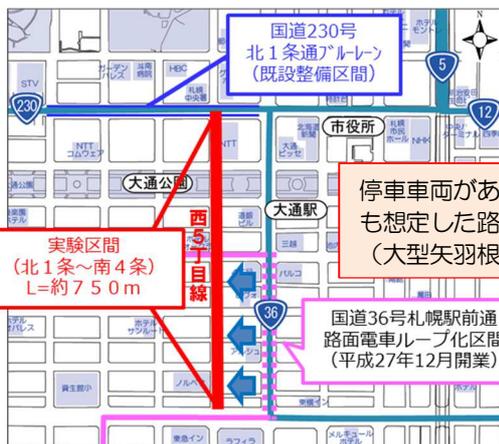
スロープで2階へ



◇【自転車】自転車走行空間の明確化

【拠点まちづくり支援・都心まちづくり支援パッケージ】

★西5丁目線自転車通行空間社会実験を実施（平成27年10月13日～10月31日）



実験概要

実施区間：西5丁目線（北1条～南4条）
（L=約750m）

実施主体：札幌都心部自転車対策協議会

実施内容：自転車の車道通行を促し、歩道の歩行者の安全性を向上させるため、自転車通行位置を明示。

停車車両と自転車の共存を図るため、自転車が停車車両を追い越す際の安全対策を想定し、全国で初めて大型矢羽根（ブルーウィング）を設置。



◇【路面電車】既存線のループ化・延伸検討

[都心まちづくり支援・観光促進・環境負荷低減促進パッケージ]

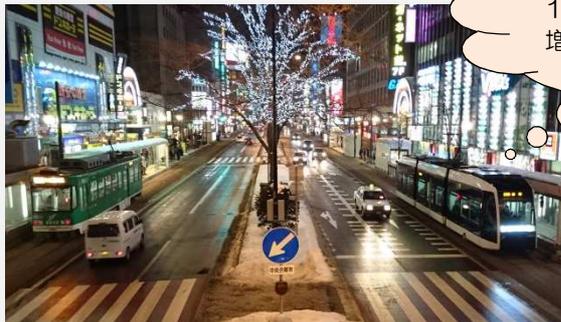
★平成 27 年 12 月 20 日より路面電車ループ化（都心線）開業

事業概要

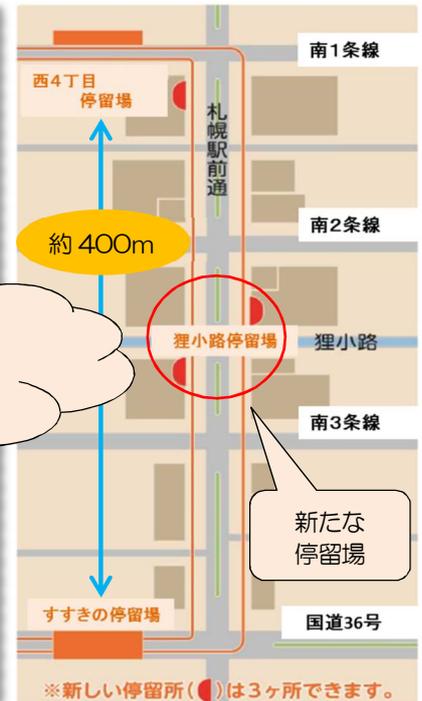
- ・都心の賑わいの軸である札幌駅前通で、西4丁目停留場とすすきの停留場を結び
- ・歩道側を走行する整備（サイドリザベーション方式）を行うとともに、狸小路付近には新たな停留場を設置

事業区間：西4丁目停留場～すすきの停留場

事業延長：約 400m



・ループ化後は、対前年比で1日当たり2,000人を超える増加（平成 28 年 12 月時点）



👉 詳細は「路面電車」のページへ

URL : <http://www.city.sapporo.jp/sogokotsu/shisaku/romen/index.html>

◇【自動車（道路網）】環状道路未整備区間の整備（西野真駒内清田線、環状通、札幌新道）

[観光促進・広域連携パッケージ]

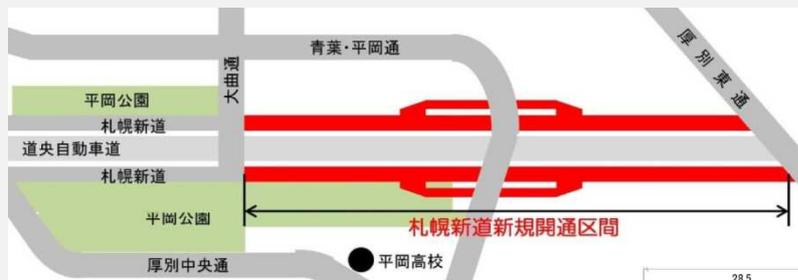
★平成 27 年 4 月 29 日より札幌新道（大曲通～厚別東通間）が開通

事業概要

路線名：札幌新道

事業区間：大曲通～厚別東通

事業延長：約 2,010m



- ・平成 27 年 4 月 25 日には、「札幌新道開通イベント」を開催
- ・測量体験や除雪機械の記念乗車等のミニイベントも合わせて開催した。

幅員構成
(代表断面)

